



東和薬品株式会社

平成26年3月期 第2四半期決算補足説明資料

2013年11月

(証券コード: 4553)

まとめ

- ・ 売上高は、前年同期比6.8%増。7月以降は若干減速気味だが、前年同期比一桁%後半の伸びで引き続きほぼ計画通り進捗している。
- ・ 売上原価は、前年同期比3.0pt増。主な要因は以下の通り。
 - ・ 減価償却費の増加: 1.2pt
 - ・ 仕掛品の減少: 1.7pt
 - ・ 在庫の増加: -1.0pt
 - ・ 大地化成連結による影響: 0.7pt
- ・ 販売管理費は、前年同期比13.9%増。付加価値製剤などを含む開発品目の増加に伴う研究開発費の増加の影響が大きい。これ以外に、大地化成を連結した影響により、東和薬品から大地化成への委託研究費など(今2Q: 233百万円)が内部消去されており、実質的には研究開発費は前年同期比34.9%増。一方、対計画では、研究開発費約3億円、広告宣伝費約1億円など、計約5億円が未達で、いずれも下期に期ずれの見込み。
- ・ 営業利益は、前年同期比28.6%減。対計画では、販売管理費の未達の影響で約5億円上回っているが、下期に同額が期ずれする見通しで、通期ではほぼ計画通りと見ている。
- ・ 業績見込みは修正していない。ただし、大地化成の原価と販売管理費の計上を当初計画から変更したので、原価と販売管理費の内訳を見直した。
- ・ 今年度決算より、大地化成を連結決算の対象としている。
- ・ 遅れていた大地化成の原薬製造工場建設については、計画を変更の上、工事を再開する。
- ・ 本社が手狭になってきており、本社機能の拡張のために近隣のオフィス物件を購入することとした。具体的な計画については今後検討する。

2014年3月期第2四半期決算概要

期	14/3 2Q			13/3 2Q	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	28,559	100.0	+ 6.8	26,742	100.0
売上原価	14,478	50.7	+ 13.6	12,747	47.7
販管費	10,961	38.4	+ 13.9	9,626	36.0
営業利益	3,119	10.9	- 28.6	4,368	16.3
経常利益	3,140	11.0	- 25.7	4,228	15.8
四半期純利益	2,019	7.1	- 25.5	2,710	10.1

(為替レート)
1ドル

2013/9 96.75円
2013/6 97.59円
2013/3 93.05円

2012/9 76.60円
2012/6 78.31円
2012/3 81.19円

2014年3月期第2四半期決算概要

期	14/3 2Q (大地化成を含まない13/3と同じ連結ベース)			13/3 2Q	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	28,559	100.0	+ 6.8	26,742	100.0
売上原価	14,276	50.0	+ 12.0	12,747	47.7
販管費	11,130	39.0	+ 15.6	9,626	36.0
営業利益	3,152	11.0	- 27.8	4,368	16.3
経常利益	3,176	11.1	- 24.9	4,228	15.8
四半期純利益	2,124	7.4	- 21.6	2,710	10.1

2014年3月期第2四半期決算概要

(対第2四半期計画進捗率)

期	14/3 2Q			14/3 2Q計画 (5月14日発表)	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	進捗率 (%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	28,559	100.0	100.6	28,400	100.0
売上原価	14,478	50.7	103.4	14,000	49.3
販管費	10,961	38.4	92.9	11,800	41.5
営業利益	3,119	10.9	120.0	2,600	9.2
経常利益	3,140	11.0	120.8	2,600	9.2
四半期純利益	2,019	7.1	115.4	1,750	6.2

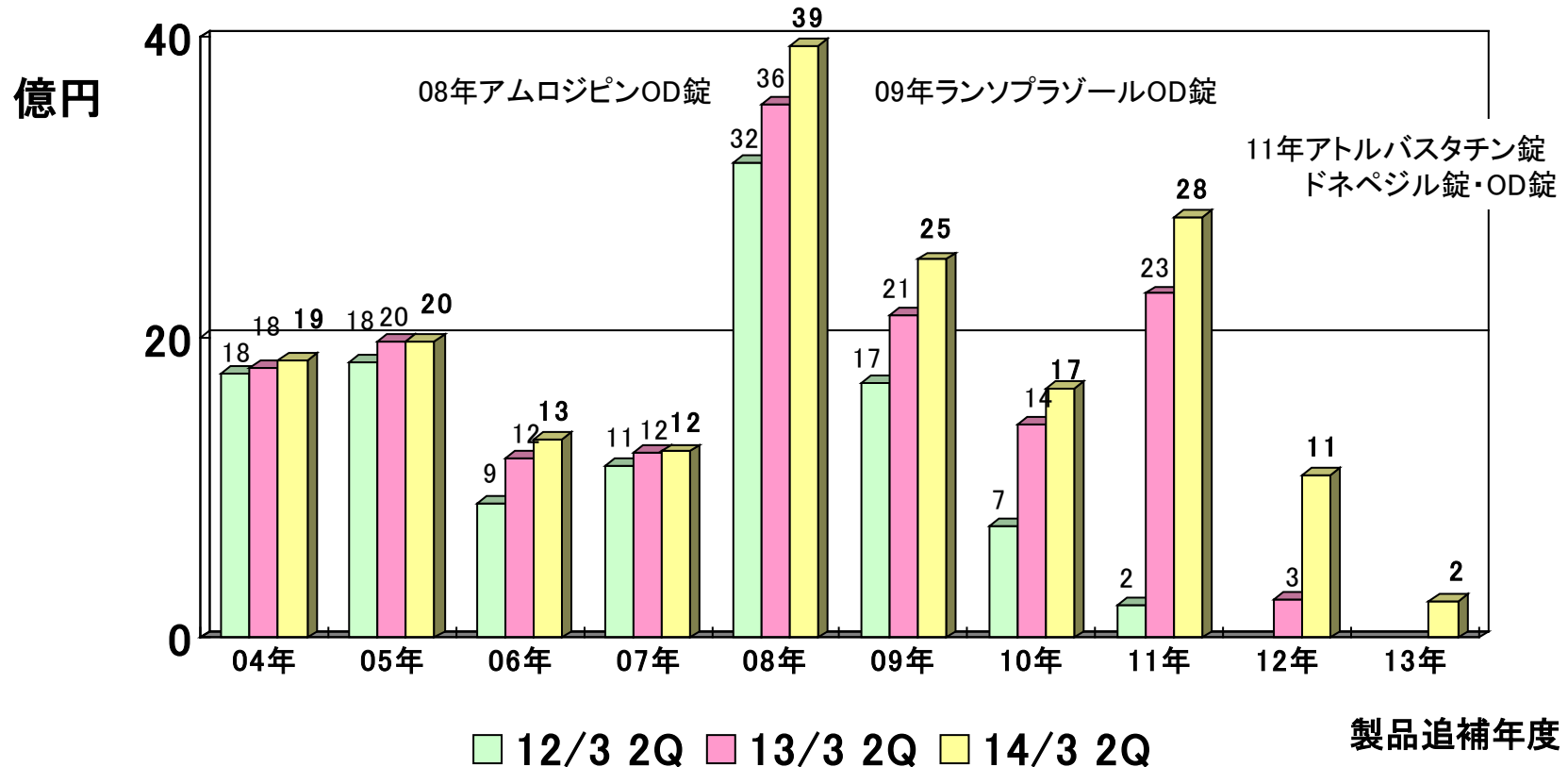
2014年3月期第2四半期決算概要

(単体)

期	14/3 2Q			13/3 2Q	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	27,773	100.0	+ 6.9	25,983	100.0
売上原価	13,809	49.7	+ 12.1	12,322	47.4
販管費	10,879	39.2	+ 16.2	9,366	36.1
営業利益	3,084	11.1	- 28.2	4,294	16.5
経常利益	3,112	11.2	- 25.0	4,152	16.0
四半期純利益	2,086	7.5	- 21.8	2,666	10.3

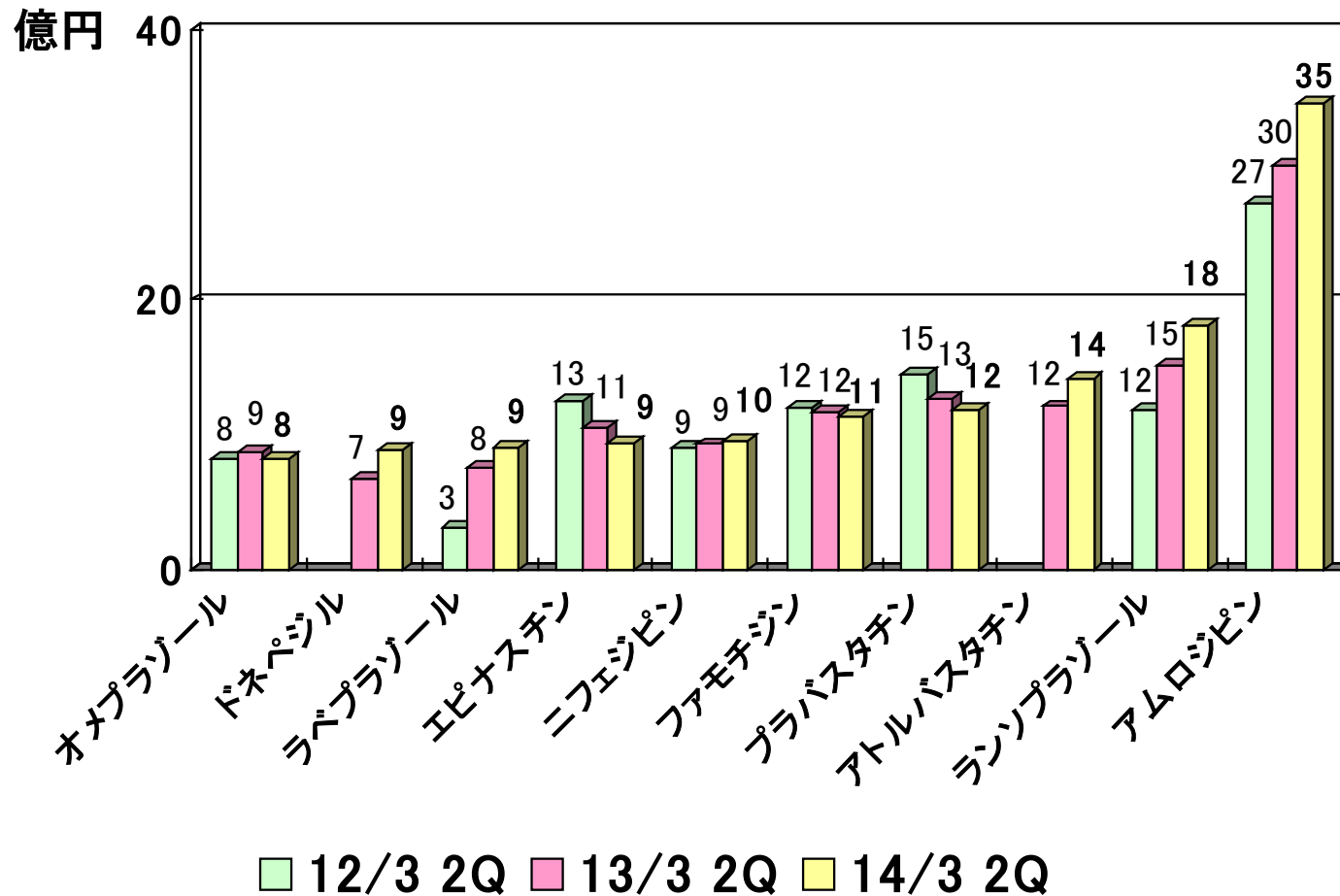
追補年度別売上高推移

08年追補以降の売上が順調に伸長した。



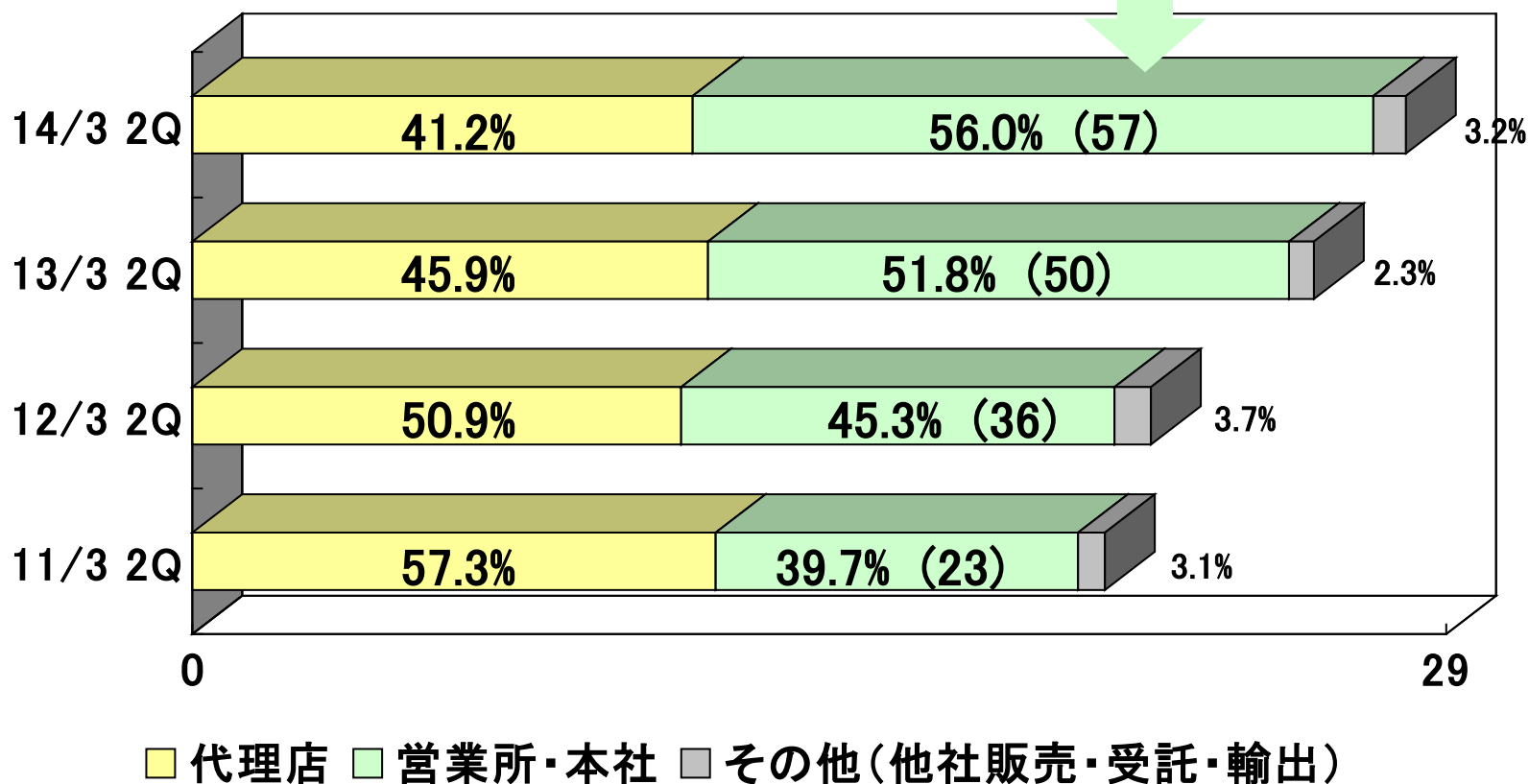
主要製品売上高推移

アムロジピン、ランソプラゾールなどが順調に成長した。



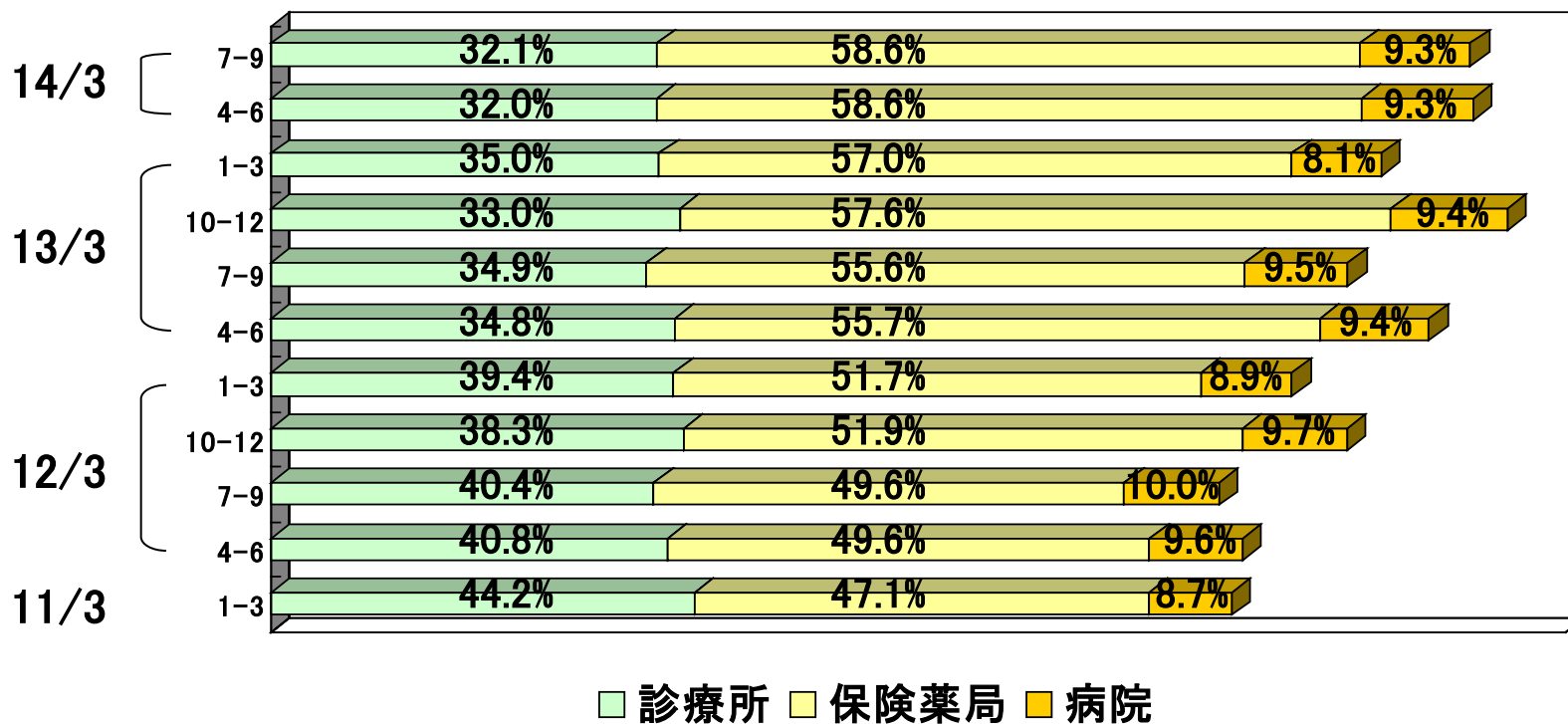
売上高詳細(販路別)

代理店の営業所化・営業所の新設、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加。
()は営業所数



売上高詳細(納入先別)

保険薬局向けの売上が約60%を占めている。



(他社販売等を除く。診療所＋保険薬局＋病院を100%としている。)

販売管理費

期	14/3 2Q			13/3 2Q	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
人件費	4,771	16.7	+ 10.5	4,316	16.1
研究開発費	2,568	9.0	+ 23.6	2,077	7.8
広告宣伝費	565	2.0	+ 62.0	348	1.3
その他	3,056	10.7	+ 6.0	2,883	10.8
販管費	10,961	38.4	+ 13.9	9,626	36.0

販売管理費は、前年同期比13.9%増。付加価値製剤などを含む開発品目の増加に伴う研究開発費の増加の影響が大きい。これ以外に、大地化成を連結した影響により、東和薬品から大地化成への委託研究費など(今2Q:233百万円)が内部消去されており、実質的には研究開発費は前年同期比34.9%増。一方、対計画では、研究開発費約3億円、広告宣伝費約1億円など、計約5億円が未達で、いずれも下期に期ずれの見込み。

貸借対照表

(百万円)

項目	13/9	13/3	増減
現金及び預金	2,650	3,485	- 835
受取手形 及び売掛金	16,654	17,217	- 562
有価証券	1,000	3,000	- 2,000
商品及び製品	11,459	10,450	+ 1,009
その他流動資産	12,470	12,895	- 425
流動資産計	44,235	47,049	- 2,813
建物及び構築物	20,849	21,271	- 422
機械装置及び運 搬具	8,734	8,388	+ 345
その他固定資産	14,538	12,996	+ 1,541
固定資産計	44,122	42,656	+ 1,465
資産合計	88,358	89,705	- 1,347

項目	13/9	13/3	増減
支払手形 及び買掛金	6,960	7,482	- 522
1年内返済予定 の長期借入金	2,925	2,825	+ 100
未払法人税等	711	1,667	- 955
その他流動負債	7,196	7,543	- 347
流動負債計	17,793	19,519	- 1,725
長期借入金	12,083	12,908	- 825
その他固定負債	1,642	1,667	- 24
固定負債計	13,726	14,575	- 849
負債合計	31,520	34,095	- 2,574
純資産合計	56,837	55,610	+ 1,227
負債・純資産 合計	88,358	89,705	- 1,347

キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

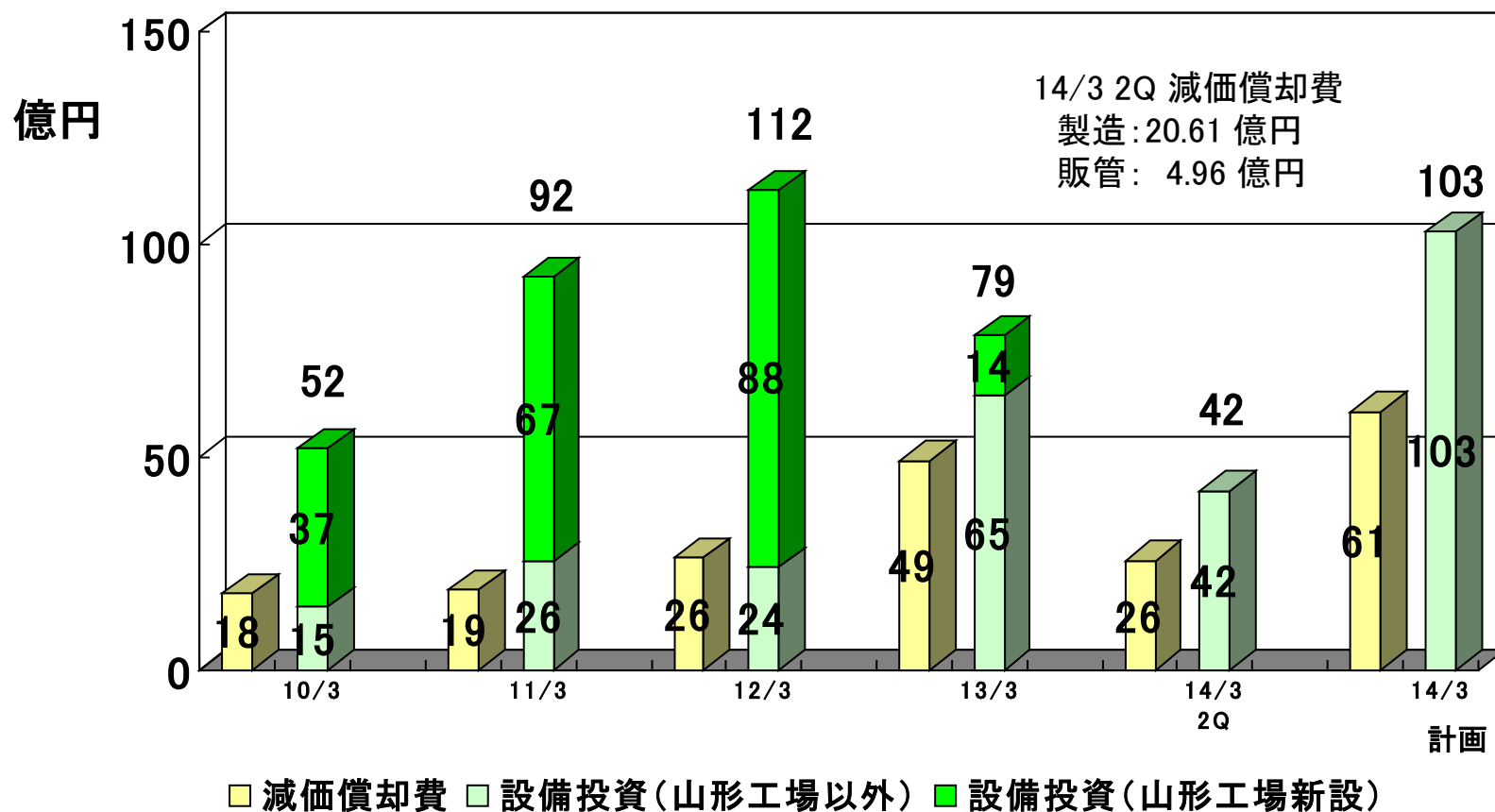
項目	14/3 2Q	13/3 2Q
税金等調整前四半期純利益	3,025	4,182
減価償却費	2,557	1,998
たな卸資産の増減額 (－は増加)	－ 887	－ 1,566
法人税等の支払額	－ 1,526	－ 1,649
その他	－ 518	1,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,650	4,495

項目	14/3 2Q	13/3 2Q
有価証券の取得による支出	－ 1,000	－ 3,000
有形固定資産の取得による支出	－ 4,825	－ 7,198
その他	1,936	－ 628
投資活動によるキャッシュ・フロー	－ 3,889	－ 10,827

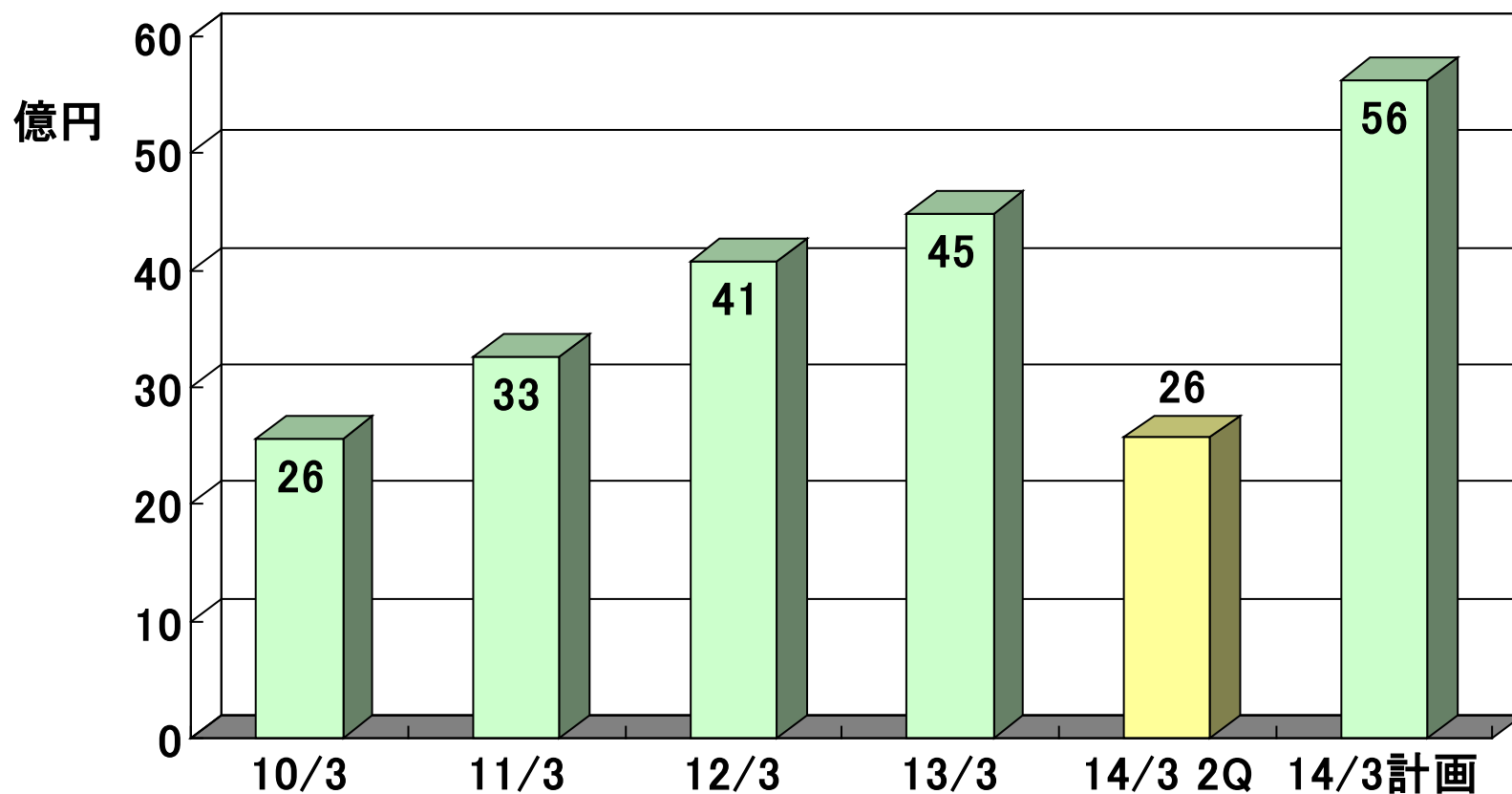
項目	14/3 2Q	13/3 2Q
長期借入れによる収入	750	6,500
長期借入れの返済による支出	－ 1,475	－ 1,178
その他	9	－ 597
財務活動によるキャッシュ・フロー	－ 715	4,723

項目	14/3 2Q	13/3 2Q
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	－ 31
現金及び現金同等物の増減額	－ 1,900	－ 1,640
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	65	－
現金及び現金同等物の期首残高	3,985	3,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,150	2,158

設備投資・減価償却費



研究開発費



2014年3月期 計画

5月14日発表の計画を据え置いた

期	14/3 計画 (5月14日発表)			13/3	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	60,800	100.0	+ 10.1	55,241	100.0
営業利益	7,800	12.8	+ 1.0	7,723	14.0
経常利益	7,850	12.9	- 17.8	9,544	17.3
当期純利益	5,200	8.6	- 16.1	6,201	11.2

据え置き理由

- ・ 上期の売上は計画から微増にとどまっており、通期でもほぼ当初計画水準となる見込み
- ・ 上期の利益の上ぶれも販売管理費の上期から下期への時期ずれが主要因であり、通期での利益も当初計画どおりとなる見込み

2014年3月期 計画

期	14/3 計画 (売上原価、販管費の内訳のみ見直し)			14/3 計画 (5月14日発表)	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	増減金額 (百万円)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	60,800	100.0	0	60,800	100.0
売上原価	30,500	50.2	+ 500	30,000	49.3
販管費	22,500	37.0	- 500	23,000	37.8
営業利益	7,800	12.8	0	7,800	12.8
経常利益	7,850	12.9	0	7,850	12.9
当期純利益	5,200	8.6	0	5,200	8.6

大地化成の原価と販売管理費の計上を当初計画から変更したので、
原価と販売管理費の内訳を見直した。

2013年12月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2012年度 売上(億円)
HMG-CoA還元酵素阻害剤	ピタバスタチンCa・OD錠1mg/2mg「トーワ」 ピタバスタチンCa錠1mg/2mg/4mg「トーワ」	リバロOD錠1mg/2mg リバロ錠1mg/2mg/4mg (興和)	515
HMG-CoA還元酵素阻害剤	アトルバスタチンOD錠5mg/10mg「トーワ」	(リピートル錠5mg/10mg) (アステラス)	(816)
免疫抑制剤	タクロリムス錠0.5mg/1mg/1.5mg/3mg/5mg 「トーワ」	(プログラフカプセル 0.5mg/1mg/5mg) (アステラス)	(457)
15員環マクロライド系抗生物 質製剤	アジスロマイシン錠250mg/500mg「トーワ」	ジスロマック錠250mg (ファイザー)	107
アレルギー性疾患治療剤	フェキソフェナジン塩酸塩DS6%「トーワ」	-	-
アルツハイマー型認知症治 療剤	ドネペジル塩酸塩OD錠10mg「トーワ」 ドネペジル塩酸塩錠10mg「トーワ」 ドネペジル塩酸塩内用液10mg「トーワ」	アリセプトD錠10mg アリセプト錠10mg (エーザイ)	230
降圧利尿剤	ヒドロクロロチアジドOD錠12.5mg「トーワ」	-	-

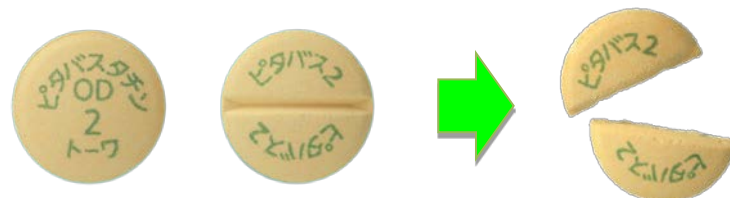
など、10成分 25品目を上市予定

12月追補品合計で初年度売上約8億円

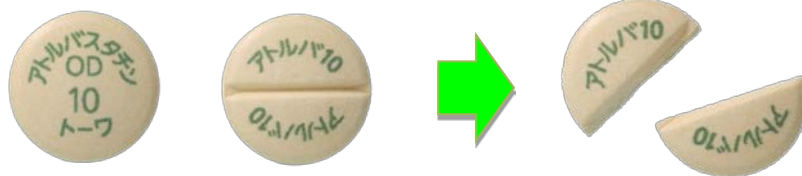
うち、ピタバスタチンCa錠・OD錠 約3億円、アトルバスタチンOD錠 約2億円
を計画しております。

2013年12月追補収載予定新製品の特長(1)

- ・ ピタバスタチンCa・OD錠
 - ジェネリック医薬品唯一のピタバスタチンOD錠
 - 製品名を両面に印刷(割線にあわせた製品名印刷)
 - バラ包装を発売



- ・ アトルバスタチンOD錠
 - アトルバスタチン製剤初のOD錠
 - 製品名を両面に印刷(割線にあわせた製品名印刷)
 - バラ包装を発売



- ・ ヒドロクロロチアジドOD錠
 - 多くの血圧降下剤の配合剤で使われている成分
 - ヒドロクロロチアジド製剤は当社のみ発売
 - 割線入りのOD錠、6.25mgの少量使用にも対応
 - 配合剤よりも患者さんに応じた調整がしやすい

2013年12月追補収載予定新製品の特長(2)

- ・ フェキソフェナジン塩酸塩DS
 - フェキソフェナジン製剤初のDS製剤
- ・ タクロリムス錠
 - カプセル剤から錠剤への剤型変更
 - 1.5mg、3mgの含量規格を追加
 - これまでカプセル1mg×3を服用していた患者さんが、錠3mg×1の服用ですむ利便性（1回の服用錠数を減らせる）
- ・ アジスロマイシン錠
 - 錠500mgの含量規格を追加
 - これまで錠250mg×2を服用していた患者さんが、錠500mg×1の服用ですむ利便性（1回の服用錠数を減らせる）



大地化成の原薬製造工場建設計画変更について

	当初計画 (2013年1月発表)	変更計画 (2013年11月発表)
工期	2013年3月～2014年3月	2013年12月～2015年2月
製造 開始	2014年4月	2015年3月
用地	福崎東部工業団地内	福崎東部工業団地内 (当初計画とは別用地)
用地 面積	敷地面積: 41,769.12m ² 延床面積: 10,922.43m ²	敷地面積: 52,367.81m ² 延床面積: 12,259.38m ²
総投 資額	約55億円	約60億円 ・ 将来の拡張を考慮して、管理棟を拡大 ・ 物価上昇による建築工事単価上昇
目的	・ 当社製品の安定的な原薬確保へ向けた強化策の一環 ・ 年間20～30品目の原薬製造を予定 (東和薬品の販売する製品の原薬数: 約320)	

東和薬品の経営戦略

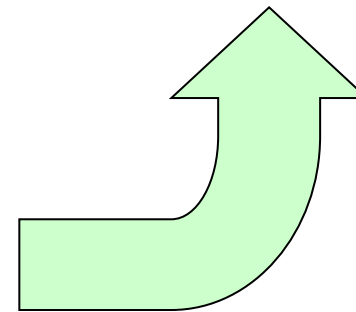
東和薬品のビジョン

信頼される
トップ企業として
勝ち残る

中期経営計画 主要課題

「信頼性のさらなる向上」

東和式直販体制の確立
製品総合力 No.1の製品づくり
安定供給体制の向上



現在は、投資が必要な期間

- ・営業体制
- ・研究開発
- ・3工場バックアップ体制
- ・原薬生産体制

＜お問い合わせ先＞

東和薬品株式会社 経営企画部

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9101

FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。